

教育施設情報

施設名：群馬大学医学部附属病院

※国内留学プロジェクト事務局より：

短期プログラムについては、今後、研修内容が変更となる可能性があります。公募開始時にご確認ください。

施設基本情報 ※施設情報について、各施設への直接のお問合せはお控えください。

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3 丁目 39-15

URL：<https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

診療科長/指導責任者

コース	診療科長	指導責任者
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	佐伯 浩司	佐伯 浩司/酒井 真
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	佐伯 浩司	佐野 彰彦
高難度膵・肝切除術コース	調 憲	新木 健一郎
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	調 憲	新木 健一郎
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	佐伯 浩司	白石 卓也

対応するプラン（コース/プログラム）

- 胸腔鏡下/ロボット支援食道切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援胃切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 高難度膵・肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型

各コースごとの年間手術件数

胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	35	件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	60	件
高難度膵・肝切除術コース	160	件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	80	件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	170	件

対応するプランごとの応募要件

コース	プログラム	応募要件
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

コース	プログラム	応募要件
高難度膵・肝切除術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	肝胆膵高度技能専門医資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。肝胆膵外科高度技能専門医資格を有しているとさらに望ましい。

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	外科専門医取得済である。
	短期	外科専門医取得済である。
	中期	外科専門医取得済である。
	長期	内視鏡外科技術認定資格を取得することを目標としている。外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。

対応するプランごとの到達目標

コース	プログラム	到達目標
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	手術見学を主体とし、術前準備や手術手技について理解する。
	短期	第二助手として参加し、手術手技を理解し術野展開ができる。
	中期	第一助手として参加し、適切な術野展開および術後管理ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

コース	プログラム	到達目標
-----	-------	------

腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	手術見学を主体とし、術前準備や手術手技について理解する。
	短期	第二助手として参加し、手術手技を理解し術野展開ができる。
	中期	第一助手として参加し、適切な術野展開および術後管理ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

コース	プログラム	到達目標
高難度膵・肝切除術コース	超短期	手術方針と術式が理解できる。
	短期	術式が理解でき、手術方針が立案できる。
	中期	助手として参加でき、部分執刀ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	手術方針と術式が理解できる。
	短期	術式が理解でき、手術方針が立案できる。
	中期	助手として参加でき、部分執刀ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	手術見学を主体とし、術前準備や術式、手術の工夫について理解できる。
	短期	主に第二助手等で参加し、超短期の目標に加え、術野展開ができる。
	中期	主に第一助手等で参加し、短期までの目標に加え、術後管理ができる。
	長期	最終的に術者として執刀ができる。

給与（中期間型プログラムおよび、長期間型プログラム）

- 中期間型プログラム、長期間型プログラムともに給与の支給：あり

福利厚生

- 住宅手当/社宅：なし
- 院内保育園/提携保育園：あり（6か月以上の研修で申し込み時に空きがある場合）

施設の特徴：

- ✓ 手術に多く参加することができる。
- ✓ 手術の執刀の機会を多く提供できる。
- ✓ 幅広い症例を経験できる。
- ✓ ロボット支援手術を積極的に取り入れている。
- ✓ 手厚い指導が受けられる。
- ✓ 修練のシステムが確立している。
- ✓ 力量や修練期間に合わせて修練目標・プランの考慮が可能。
- ✓ 研究・学術活動の機会がある。

✓ 他診療科との連携が強い。

施設からの一言：

群馬大学医学部附属病院では、消化管外科領域と肝胆膵外科領域において幅広い多くの症例を経験することができます。若手から中堅まで、それぞれの経験や到達目標に応じた柔軟な修練プログラムを整備しており、実際の執刀機会も積極的に提供しています。さらに、各症例に応じた手術適応の考え方や治療戦略、周術期管理についても実践的に学ぶことができます。研究・学術活動にも力を入れており、臨床と研究の両面から外科医として成長できる環境が整っています。

消化管外科では、上部消化管、下部消化管を問わず様々な良性疾患・悪性疾患に対して積極的に低侵襲手術を導入しております。上部消化管領域では食道癌・胃癌に対する胸腔鏡／腹腔鏡手術およびロボット支援手術に加え、近年増加傾向の食道胃接合部癌に対する胸腔鏡下/ロボット支援下 Ivor-Lewis 食道切除も定型化されており実践的な修練が可能です。また比較的稀な疾患である食道アカラシアに対する経口内視鏡的筋層切開術（Per-Oral Endoscopic Myotomy：POEM）の症例数も豊富であり、幅広い領域の上部消化管手術の経験が可能です。下部消化管領域では、結腸・直腸癌に対する腹腔鏡手術、ロボット支援手術に加え、低位直腸癌に対する経肛門的全直腸間膜切除術（transanal total mesorectal excision：TaTME）を含む経肛門アプローチ併用手術を多数施行しています。特に TaTME 関連手術では全国でも有数の症例数を有しており、狭骨盤や低位腫瘍に対する骨盤深部操作、distal margin 確保、経肛門的直腸切離・吻合など、直腸癌手術に必要な高難度手技を実践的に学ぶことができます。内視鏡外科技術認定取得を目指す医師に対しては、術野展開、剥離層の保持、リンパ節郭清、出血時対応、カメラワーク、助手操作、手術動画の振り返りまで、段階的に指導します。見学、助手、部分執刀、術者へと到達度に応じてステップアップできる体制を整えており、技術認定取得に必要な手術手技と考え方を丁寧に学ぶことができます。

肝胆膵外科では、年間 150 例以上の肝胆膵高難度手術を施行しており、高度技能専門医取得のための技術やノウハウを丁寧に指導いたします。低侵襲肝切除では、腹腔鏡／ロボットの亜区域以上の高難度術式の施行率が高く、安全性を重視した手技について実践的指導を受けられることが特徴です。内視鏡技術認定取得を目指す医師に対しては、術野展開、剥離層の保持、肝離断手技、出血コントロール、助手操作、ビデオ勉強会まで、丁寧な指導を行います。また、手術手技だけでなく手術適応や術式決定の戦略、考え方についても体系的に学ぶことが可能です。

ご興味のある方は、ぜひ応募いただき、一緒に研鑽を積みましょう。